

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第3区分  
【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公開番号】特開2009-50029(P2009-50029A)  
【公開日】平成21年3月5日(2009.3.5)  
【年通号数】公開・登録公報2009-009  
【出願番号】特願2008-305931(P2008-305931)  
【国際特許分類】

H 0 1 Q 3/30 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 Q 3/30

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年3月6日(2012.3.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

1つの好ましい実施形態において、前記アンテナアセンブリの前記素子は、第1のサブアレイ、第2のサブアレイ、および第3のサブアレイに構成され、前記アンテナシステムは、

前記第1のサブアレイに供給される信号の位相を制御する第1の制御手段と、

前記第3のサブアレイに供給される信号の位相を制御する第3の制御手段と、

前記第1および第3のサブアレイに供給される信号の位相の所定の関数に応じて、前記第2のサブアレイに供給される信号の位相を自動的に制御するように構成された第2の制御手段とを備える。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

有利には、前記所定の関数は、前記第1および第3のサブアレイに供給される信号の位相のベクトル合計である。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

前記第2の制御手段は、好ましくは、コンバイナユニットを含むことができ、このコンバイナユニットは、前記第1のサブアレイに供給される信号の位相を有する第1の入力信号、および前記第3のサブアレイに供給される信号の位相を有する第2の入力信号を受信し、かつ前記第1および第3のサブアレイに供給される信号の位相の所定の関数に応じて、第2のサブアレイに出力信号を提供する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 8

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 8 】

一実施形態において、所定の関数は、前記第 1 および第 3 のサブアレイに供給される信号の位相のベクトル合計である。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 1 9

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 9 】

さらなる好ましい実施形態において、第 2 の制御手段は、少なくとも 1 つの直角位相 (quadrature) コンバイナユニットを含み、この直角位相コンバイナユニットは、第 1 のサブアレイに供給される信号の位相を有する第 1 の入力信号と、前記第 3 のサブアレイに供給される信号の位相を有する第 2 の入力信号とを受信し、かつ第 2 のサブアレイの 1 つの素子に第 1 の出力信号と、第 2 のサブアレイの異なる素子に第 2 の出力信号とを提供し、前記第 1 および第 2 の出力信号が、第 1 および第 2 の入力信号の位相の所定の関数に応じる。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 0

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 0 】

好ましくは、前記アンテナアセンブリの前記素子は、第 1、第 2、および第 3 のサブアレイに構成され、前記アセンブリは、

前記第 1 のサブアレイに供給される信号の位相を制御する第 1 の制御手段と、

前記第 3 のサブアレイに供給される信号の位相を制御する第 3 の制御手段とを含み、

前記第 2 の制御手段は、前記第 1 および第 3 のサブアレイに供給される前記信号の位相の所定の関数に応じて、前記第 2 のサブアレイに供給される前記信号の位相を自動的に制御するように構成される。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 1

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 1 】

有利には、所定の関数は、前記第 1 および第 3 のサブアレイに供給された信号の位相のベクトル合計である。